

# 令和5年度 平田野中学校区学校運営協議会 兼 第3回 平田野中学校運営協議会報告書

令和5年11月10日（金）

被服室 10:00

## 1 あいさつ

（校長より）

- ・9年間を見通して、小中で学校運営協議会を合同で行うことは大変有意義。本校では「気持ちよくあいさつ」をテーマに取り組んでいる。今日は、まず授業参観をしていただき生徒の様子を見ていただこうと思っている。よろしくお願ひします、

## 2 講演「小中合同による学校運営協議会の取組」加藤稔明（教育支援課）

- ・別紙参照

## 3 グループ討議

A～Eグループ（別紙参照）

### ・委員のみなさんから

（平田野中会長）中1ギャップについて、中学校入学前に、中学校から小学校に準備段階での手立てを行ってこれているのがいい。

中学校の学習ボランティアをした経験から、学力は、1年生で（6年生までの学習が）かなり厳しい生徒がいる。これは、鈴鹿市としては小中を見通した学力への手立てはどうなっているのか？

→（国府小校長）鈴鹿市の小学校では、30校すべてでよむ YOMU ワークシートに取り組んで言語能力・言語活動を育てることに取り組んでいる。

- ・（平田野中委員）鈴鹿市の広報で知ったが、これから鈴鹿市の教育では非認知能力を育てていくと書いてあった。期待したい。

- ・（庄野小委員）CSも支援型から連携型・協働型へと進んできている段階だと思うが、先ほどの授業参観で見せてもらった様子からは、基礎的な学力に力をいれられているのと感じる。子どもたちの力も、学力だけでなく、基礎的な学力から非認知能力へと進んでいく段階と考えている。期待している。

- ・（庄野小委員）中学校では、ネット・リテラシーの授業やSNSとのかかわり方の授業はどれくらいやっているのか？

→（上田：平田野中学校長）教育支援課と連携して、各学年が1回ネットリテラシーの授業を集会形式で行っている。また、道徳の授業でも各クラスで取

り扱い、道徳以外でも社会科をはじめほぼ全教科で関連のある場面で触れ、指導・啓発を行っている。

→（逢坂）先ほどの社会科のクレジットの授業もSNSの授業か？

→（篠原）あれは社会科の授業。SNSの授業ではなかった。

- ・（庄野小委員）愛知県では「ラーケーションの日」に取り組んでいる。個人的にはあのような取組は不要だと考えるが、鈴鹿市ではどう考えているのか？加藤先生お聞かせ願えればと思う。

→（加藤）鈴鹿市では夏休みに1日授業日を設けることで平日に1日休日を設定している。（キッズウィークの意？）

- ・（明生小委員）この小中合同ガッコ運営協議会が何を目的に実際に何に取り組むのか。しっかりとした形が示されることを望む。

私たちが気になるのは、子どもたちの小中の先のこと。ぜひこの連携の形が知りたい。

→（平田野中学校長）やはり、9年間を見通した教育、見守りの形が大切なのではないかと思う。

→（明生小学校長）みなさん9年間の子どもの学び・活動の充実を考え、てのことだと思う。今「小・中のその先が気になる」との言葉もいただいた。

私は現明生小学校で前庄野小学校、若い頃には平田野中学校に勤務した。この校区の雰囲気も知っているつもりであるが、やはり大切にしているのが「あいさつ」、「あいさつによって、その先が見えてくる」と考えている。実は、今勤務している明生小学校の例で恐縮だが、毎朝見守りに立っていると、中学生も目の前を通りすぎていく。昨年1年は初めての年で、中学生にあいさつしてもほとんど反応がなく、あいさつも返ってこなかった。それが、今年になって2年目になると、中学生もあいさつを返ししてくれるようになった。やはり、継続することは大切だと教えてもらった。

そんな中に、高校生でも、通り過ぎる時に毎日かならず「おはようございます」としっかりとあいさつをしていく子がいる。地域の方にきくと、あの子は小学校の時からずっと続けているとのこと。やはり、小さなこと、継続していくことから「あいさつによって、その先が見えてくる」と実感した。

以上